

2024 年度事業実績及び 2025 年度事業計画

〔保健予防課〕

1 2024 年度事業実績

(1) 健康づくり意識の向上（計画：基本目標 1-目標 2-施策 1）

① 健康づくり推進委員会を中心とした健康づくり活動の普及

健康づくり推進委員の自主的な健康活動を支援するために健康づくり
機材貸出、健康づくりに関連する情報提供を実施しました。

健康づくり推進委員数	150 人
年間機材貸出件数(物品数×日数)	707 件
情報提供	健康づくり推進委員ハンドブック

(2) がん、糖尿病などの非感染性疾患対策（計画：基本目標 1-目標 2-施策 4）

① 生活習慣病予防を目的とした成人健康教育

18 歳以上の市民を対象に腎臓病予防や糖尿病予防等の講習会を実施し、
生活習慣病予防等に関する知識の普及啓発を行いました。

講習会目的	実施内容	定 員 (人)	回 数 (回)	参加者数 (人)
糖尿病予防	糖尿病専門医講話	30	1	25
	健康運動指導士講話・実技	40	1	29
腎臓病予防	管理栄養士講話・試食	16	2	30
脂質異常症予防	保健師・管理栄養士講話	32	2	49
高血圧予防	管理栄養士講話・試食	16	1	16
骨粗しょう症予防	町田慶泉病院 OLS（骨粗しょう 症リエゾンサービス）チーム （医師、薬剤師、管理栄養士、 理学療法士）の講話と運動実技	40	1	35

(3) 感染症対策（計画：基本目標 1-目標 2-施策 5）

① 感染症予防に関する普及啓発

結核や、H I V・性感染症等について、予防や早期発見・対応ができ
るよう、市民や関係機関に様々な方法で情報を発信しました。

普及啓発回数	24 回
普及啓発方法	町田市ホームページや LINE による情報発信、ポスター掲示、チ ラシ配布、普及啓発物品配布（チラシ入りのティッシュ等）、市 庁舎ライトアップ、関係機関の会議出席等。

② MR1 期の予防接種率

対象者に対する個別勧奨の実施や、わくわくワクチンプラス（予防接種スケジュール管理サービス）の周知により、目標値を達成しました。

対象者数	2,350 名
接種者数	2,338 名
接種率（実績）	99%
接種率（目標）	99% 以上

（４）望ましい栄養・食生活の推進（計画：基本目標 1-目標 3-施策 1）

① ライフステージに応じた望ましい食生活の推進

市民一人ひとりが、ライフステージに応じた食の知識と選択する力を習得し、望ましい食生活を実践できるように、各ライフステージへの取り組みを行いました。また、市民の多様なライフスタイルに応じた食育を推進するために、組織や分野の垣根を超えた分野横断的な取組を行いました。

取組名	対象	取組内容	参加者
お父さんのための 離乳食講習会	乳 幼 児 と 保 護 者	男女平等推進センターと連携して、食育と父親の育児参加を入れた内容で実施	20※
幼児食講習会	乳 幼 児 と 保 護 者	児童青少年課（子どもセンター）と連携し、食育と地域での子育て支援の視点を入れた内容で実施	38※
食体験事業	小 中 学 生 と 保 護 者	環境政策課、土地利用調整課、JA 町田市と連携して、食育と食品ロス削減や地産地消の視点を入れた内容で実施	19
高校生と連携した 健康教育	高校生	都立町田総合高校の生徒へ健康教育を実施し、学んだ内容を基に高校生が朝食摂取の普及啓発媒体を作成し、市の SNS で発信	32
生活習慣病予防に 関する成人健康 教育（再掲）	18 歳 以 上 の 町 田 市 民	生活習慣病予防等に関する健康教育を実施	149

※対象となる児の数

(5) 食を通じて地域とつながるための支援（計画：基本目標1-目標3-施策2）

① 町田市食育ボランティアによる共食及び地産地消の推進

町田市食育ボランティアが地域で活動し、家族や友人等と一緒に食卓を囲む機会や町田の食に触れる機会を作り、共食や地産地消の啓発を行いました。

取組名	取組内容	実施場所	参加者
家庭教育支援講座	調理実習「パッキングクッキング」	生涯学習センター	8組16名（大人8名、子ども8名）
食体験事業	調理実習「夏野菜ちらし寿司」他	バイオエネルギーセンター	8組19名（大人9名、子ども10名）
施設での食育活動	調理実習「まちだすいとん」	ボワアルモニー	施設利用者15名
くらしフェア	「まちだすいとん」の調理・提供	町田市民フォーラム	100名
子どもセンターでの食育活動	調理実習「パッキングクッキング」	子どもセンターつるっこ	小学生14名

(6) 食に関する環境の整備（計画：基本目標1-目標3-施策3）

① 民間企業等と連携した食に関する情報発信

市民が普段利用するスーパーでの減塩レシピの配布や公共交通機関等でのデジタルサイネージでの発信を行い、食育に関心を持ってもらうための取組を行いました。あわせて、市のSNSを使い、市民が望ましい栄養・食生活の実践につながる情報を発信しました。

取組内容		実施時期	実施場所
バス・タクシー車内、商業施設等への動画掲載		通年	東日本タクシー
		6月1日～30日	・神奈中バス（町田営業所管轄50台） ・JR町田駅 Newdays ビジョン ・町田マルイ・モディ ・東急リバブル
		9月1日～30日	・町田マルイ・モディ ・東急リバブル
スポーツチームホームゲーム電光掲示板への掲載		6月～11月（計8回）	町田 GION スタジアム（FC町田ゼルビア）
		6月～12月（計9回）	町田市立総合体育館（ASV ペスカドーラ町田）
レシピの配布	減塩	6月1日～	（株）三和店頭及び市内関連施設
	朝食	2月3日～	

ソーシャルメディア種類	発信数（投稿数）	登録数（フォロワー数）	いいね数（♡）
X（旧 Twitter）	180	788	901
Instagram	180	567	1,339

② 民間企業等と連携した食に関する普及啓発

市内のレストランと連携し、期間限定で減塩メニューや野菜たっぷりメニューの提供を行いました。

提供期間	提供場所	提供内容
6月中の6日間	レストランフレンズ	減塩コラボメニュー
9月中の6日間		野菜も取れる減塩コラボメニュー
9月1日～14日	森のレストラン	1/3日分の野菜が摂れるサラダ麺

（7）こころの健康づくりの推進（計画：基本目標1-目標4-施策2）

① 地域精神保健福祉連絡協議会

精神疾患のある患者が地域で安心して生活を送るために、地域包括ケアシステムの構築に向けた協議会等を開催しました。

テーマ	精神疾患のある患者が地域で安心して生活を送るために
開催日	2024年7月25日（木）
出席者数	16名

② 講演会

精神障がい者を地域で支えるために、支援機関の職員を対象とする講演会を開催しました。

講演会名	精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムを学ぶ
開催日	2024年11月5日（火）
参加者数	会場25名、オンライン59名（計84名）
参加機関数	30機関

③ 普及啓発

こころの相談窓口に関する周知、こころの相談に適切に対応するための研修会等を行いました。

区分	ア．こころの相談窓口に関する啓発物品の配布
配布部数	リーフレット1484部
配布機関数	141機関

区分	イ．みんなの健康だよりへの精神保健に関連した記事掲載
掲載時期	2025年3月1日号
内容	身近な人のこころと身体の不調のサイン

区分	ウ．デジタルサイネージの活用によるこころの相談窓口の周知
方法・時期	東日本タクシー後部座席（通年） マルイモディ電光掲示板（10月）

区分	エ．こころのサポーター養成研修
開催時期	2024年10月16日
参加者数	市民24名（会場）

（８）新興感染症対策（計画：基本目標２-目標２-施策１）

① 感染症対策地域連携会議への参加

病院が主催する会議に参加することにより、関係機関と顔の見える関係を構築し、連携調整を強化しました。

会議参加回数	8回
--------	----

（９）大規模災害時における医療提供体制（計画：基本目標２-目標２-施策２）

① 在宅人工呼吸器使用者の難病患者等の把握と災害時個別支援計画の作成への支援

在宅人工呼吸器使用の難病患者等に対しては、災害発生に備え、関係機関と連携をとりながら災害時個別支援計画作成を支援しました。

作成件数	26件
------	-----

<事業総括（2025年度に向けての課題や目標など）>

【からだの健康を支えるまち】（基本目標１-目標２）

- ・感染症について、予防や早期発見・対応ができるよう、市民や関係機関に様々な方法で情報を発信しました。今後は若い世代に向けた情報発信についても検討していきます。
- ・予防接種事業について、対象者に対する個別勧奨の実施や、わくわくワクチンプラス（予防接種スケジュール管理サービス）の周知により、目標値を達成しました。今後も、わくわくワクチンプラスの利用促進や、予診票のデジタル化の導入に向けた準備に取り組みます。

【食で健康を支えるまち】（基本目標１-目標３）

- ・食育に関心がない人にも関心を持ってもらえるように SNS での発信や民間企業と連携した取組を実施しました。引き続き民間企業や関係機関と連携した取組を行います。

【かけがえのないいのちを大切にすまち】（基本目標 1-目標 4）

・こころの健康づくりに関する普及啓発を実施しました。引き続き、精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けて取組を行います。

【新興感染症や大規模災害に対応できるまち】（基本目標 2-目標 2）

・在宅人工呼吸器使用患者については、災害発生に備え、支援計画を作成しています。今後は、より実効性のあるものとするため、災害訓練の実施に向けた取り組みを行います。

2 2025 年度事業計画及び進捗状況

（１）健康づくり意識の向上（計画：基本目標 1-目標 2-施策 1）

健康づくり推進員は、市と協力しながら「自分の健康は自分で守る」という意識の向上及び市民の自発的な健康づくり活動の推進をしています。

○機材貸出し

…地域活動で活用してもらえるように、機材貸出を実施します。

○情報発信

…健康づくりに関連する情報を集約し、推進委員へ発信します。

（２）感染症対策（計画：基本目標 1-目標 2-施策 5）

結核や、H I V・性感染症等について、予防や早期発見・対応ができるよう、市民や関係機関に様々な方法で情報を発信します。

予防接種について、対象者に対する個別勧奨の実施や、わくわくワクチンプラス（予防接種スケジュール管理サービス）の周知をします。

●情報発信

…ホームページや LINE による情報発信、関係機関との会議参加等を通じて、感染症に関する情報を提供します。

○デジタル技術の活用

…わくわくワクチンプラスの利用促進や、予診票のデジタル化の導入に向けた準備に取り組みます。

（３）食で健康を支えるまち（計画：基本目標 1-目標 3-施策 1・2・3）

市民の多様なライフスタイルに応じた食育を推進するために、組織や分野の垣根を超えた分野横断的な取組や民間企業等と連携した取組を行います。

○情報発信

…SNS やデジタルサイネージ、イベント等を通じて広く市民へ食育に関する情報を発信します。

○民間企業や大学等との連携

…健康的な食生活に関心がない人にも関心を持ってもらえるよう民間企業や大学と連携した取組を行います。

(4) こころの健康づくりの推進（計画：基本目標1-目標4-施策2）

精神疾患のある患者が地域で安心して生活を送るために、地域包括ケアシステムの構築に向けた取組を行います。

○地域精神保健福祉連絡協議会の開催

…精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けて、引き続き協議を行います。

○普及啓発及び情報発信

…こころの健康について身近に相談ができ、適切な対応ができるよう、相談窓口の周知、こころの健康づくりに関する普及啓発を行います。

(5) 新興感染症対策（計画：基本目標2-目標2-施策1）

病院が主催する会議（感染症対策地域連携会議）に参加することにより、関係機関と顔の見える関係を構築し、連携調整を強化します。

(6) 大規模災害時における医療提供体制（計画：基本目標2-目標2-施策2）

在宅人工呼吸器使用患者については、災害発生に備え、支援計画を作成・更新します。今後は、より実効性のあるものとするため、災害訓練の実施に向けた取り組みを行います。